

底生動物等の移動状況について

平成30年5月

沖縄防衛局

1. 底生動物への対応について

○ 環境省レッドリスト等の掲載種は、第4回環境監視等委員会(平成27年4月)において説明した以下の考え方により、事業の進捗に伴い改変される区域において、施行区域外の適切な場所へ移動・放流することとしている。

◇ 底生動物の移動の考え方

- ・移動元は、代替施設本体及び辺野古地先水面作業ヤードの設置に伴う改変区域内のうち、底生動物等の人力捕獲が可能な水深20m以浅の範囲。
- ・移動対象は、改変区域内で確認された自力移動能力の低い貝類や甲殻類のうち、環境省レッドリストや沖縄県のレッドデータブック等に記載されている「重要な種」
- ・移動先は、「重要な種」の生息が確認されている地域や生息環境・生物相が類似している地域とし、各生物種の確認状況や生息環境・生物相の調査結果をもとに種ごとに選定。
- ・採取及び移動は、各生物種の生態情報を踏まえて、生物に影響を与えない手法を選定。
- ・移動先及びその周辺における生物相についての環境監視調査を行い、移動後の生物・生息環境に大きな変化が生じていないかどうかを確認。

2. 底生動物の移動状況について

(1) 実施状況

平成30年5月18日までに593地点において「重要な種」の確認調査を行い、うち475地点で75種類、計6,642個体を移動（3ページ参照）。引き続き、大浦湾側の埋立区域において底生動物の移動・放流を実施予定。

※重要な種の保護の観点から表示していません。

移動



※重要な種の保護の観点から表示していません。

【移動放流状況】



【採捕状況】



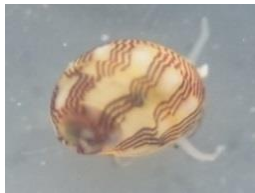
底生動物の移動元において確認された種

【巻貝類】

ヤジリスカシガイ



キンランカノコ



【二枚貝類】

ソメワケグリ



オオユキミノ



オサガニヤドリガイ



ユンタクシジミ



オキナワヒシガイ



コニッコウガイ



【ホシムシ類】

スジホシムシ



【甲殻類】

メナガオサガニ



No.	分類群	種名	個体数	地点数
1	巻貝類	サラサダマ	27	17
2		ヤジリスカシガイ	4	4
3		クサイロカノコ	48	22
4		キンランカノコ	538	34
5		ミヤコドリ	2	1
6		カヤノミカニモリ	3	3
7		マルシロネズミ	5	5
8		オハグロガイ	124	98
9		フトスジムカシタモト	1	1
10		ネジマガキ	4	4
11		ヒロクチリスガイ	1	1
12		アラゴマフダマ	18	14
13		ヒメオリイレムシロ	1	1
14		リュウキュウムシロ	9	1
15		イガムシロ	6	5
16		コガンゼキ	1	1
17		ハイロミノムシ	3	3
18		コトツブ	3	2
19		ヒメヒラシイノミガイ	12	1
20	二枚貝類	リュウキュウサルボウ	29	28
21		ソメワケグリ	350	130
22		ホソスジヒバリガイ	2	2
23		サザナミマクラ	13	12
24		オオユキミノ	43	38
25		チヂミウメノハナ	8	7
26		カブラツキガイ	70	27
27		<i>Diplodonta</i> sp.B	2	1
28		オオツヤウロコガイ	4	3
29		コハクマメアゲマキ	56	29
30		オサガニヤドリガイ	19	8
31	ユンタクシジミ	43	21	
32	スジホシムシヤドリガイ	14	10	
33	アケボノガイ	1	1	
34	イレズミザル	5	5	
35	カワラガイ	71	64	
36	オキナワヒシガイ	309	162	
37	トモシラオガイ	1	1	
38	ガンギハマグリ	1	1	
39	オミナエシハマグリ	38	34	
40	オイノカガミ	172	118	

No.	分類群	種名	個体数	地点数
41	二枚貝類	リュウキュウアサリ	13	11
42		ナミノコガイ	7	1
43		リュウキュウナミノコ	147	20
44		ヒノデガイの一種	2	2
45		ヒメニッコウガイ	23	19
46		コニッコウガイ	27	26
47		ヒラセザクラ	5	5
48		ミガキヒメザラ	9	6
49		ミクニシポリザクラ	15	11
50		ハスメザクラ	8	7
51		ハスメヨシガイ	6	6
52		ユキガイ	1	1
53		イソハマグリ	3,050	45
54		ナミノコマスオ	34	11
55	ユムシ類	サビネミドリユムシ属 (注1)	1	1
56	ホシムシ類	スジホシムシモドキ属 (注2)	117	43
57		スジホシムシ	167	45
58	甲殻類	メナガオサガニハサミエボシ	14	4
59		ホソスナモグリ	2	2
60		ブイエスナモグリ	85	21
61		マーグエイヨコバサミ	3	2
62		マルテツノヤドカリ	2	2
63		キカイホンヤドカリ	1	1
64		リュウキュウカクエンコウガニ	2	2
65		イワトビベンケイガニ	2	2
66		アシナガアカイソガニ	1	1
67		オキナワヒライソガニ	1	1
68		ロツカクイソガニ	1	1
69		ヨツハヒライソモドキ	2	1
70		レンゲガニ	118	21
71		ミナミヒライソモドキ	214	31
72		ヒメカクオサガニ	442	47
73	メナガオサガニ	57	17	
74	ルリマダラシオマネキ	1	1	
75	カワラビンノ	1	1	
合 計			6,642	-

注1 外見の特徴からミドリユムシの可能性があったため、移動した。

注2 正確な同定には解剖が必要とされるが、外見の特徴からスジホシムシモドキ、アマミスジホシムシモドキが含まれると判断した。

3. ウミボスの移植状況について

(1) 実施目的

海藻類のうち、沖縄県から環境保全措置の検討が求められたウミボスについて、施行区域外の適切な場所へ移植する環境保全措置を講じているもの。移植作業の時期は、本種の繁茂期である3～4月に実施するものとし、次の繁茂期までに事業の進捗に伴い改変される区域を対象として、生育状況調査及び移植作業を行った。

(2) 実施状況

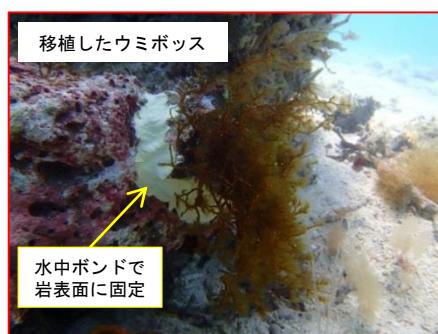
第5回環境監視等委員会(平成27年6月5日開催)においてお示した^{※重要な種の保護の観点から表示していません。}近傍の52地点(過去の調査において、確認したウミボスの生育位置を踏まえ設定した地点)において、平成30年3月26～29日、4月4日の計5日間、ウミボスの生育確認調査を行い、うち1地点で1個体を発見(平成30年3月28日)。同日、タガネによりウミボスが着生する基盤を採取し、海水を入れたバケツに収容し、同日中に移植先の海底へ運搬し水中ボン드로固定。

※重要な種の保護の観点から表示していません。

移植



※重要な種の保護の観点から表示していません。



4. 「環境省レッドリスト2018」の概要

○ 平成30年5月22日、環境省レッドリスト2018が公表。

○ レッドリスト2018において、45種が新たに掲載され、レッドリスト2017に掲載されていた種のうち22種の評価が見直された(18種のランクが変更、4種が削除)。

表1: 環境省レッドリスト2018掲載種数 (環境省報道発表資料(H30.5.22)より)

分類群	評価対象種数	絶滅 EX	野生絶滅 EW	絶滅危惧種			準絶滅危惧 NT	情報不足 DD	掲載種数 合計	
				絶滅危惧Ⅰ類		絶滅危惧Ⅱ類 VU				
				I A類 CR	I B類 EN					
動物	哺乳類	160 (160)	7 (7)	0 (0)	33(33)			18 (18)	5 (5)	63 (63)
					24(24)		9(9)			
					12(12)	12(12)				
	鳥類	約700 (約700)	15 (13)	1 (1)	97(97)			21 (21)	17 (19)	151 (151)
					54(54)		43(43)			
					23(23)	31(31)				
	爬虫類	100 (98)	0 (0)	0 (0)	37(37)			17 (17)	4 (4)	58 (58)
					14(13)		23(24)			
					5(4)	9(9)				
両生類	76 (66)	0 (0)	0 (0)	29(28)			22 (22)	1 (1)	52 (51)	
				17(15)		12(13)				
				4(3)	13(12)					
汽水・淡水魚類	約400 (約400)	3 (3)	1 (1)	169(169)			35 (34)	37 (35)	245 (242)	
				125(125)		44(44)				
				71(71)	54(54)					
昆虫類	約32,000 (約32,000)	4 (4)	0 (0)	363(358)			350 (352)	153 (153)	870 (867)	
				177(173)		186(185)				
				71(68)	106(105)					
貝類	約3,200 (約3,200)	19 (19)	0 (0)	616(587)			445 (446)	89 (89)	1169 (1141)	
				288(244)		328(323)				
				33(13)	16(7)					
その他無脊椎動物	約5,300 (約5,300)	0 (0)	1 (1)	65(63)			42 (42)	43 (42)	151 (148)	
				22(20)		43(42)				
				0(0)	2(1)					
動物小計		48 (46)	3 (3)	1409(1372)			950 (952)	349 (348)	2759 (2721)	
				721(689)		688(683)				

○ 底生動物については、環境省レッドリスト2018において新たに評価もしくは評価が変更された種のうち、沖縄本島での生息が報告されている種は、いずれも過去の環境省レッドリスト等に掲載されていたため、既に「重要な種」とされていたものであり、これまでの調査等で改変区域での生息が確認されていない。また、2ページの「2. 底生動物の移動状況について」で記載した調査においても確認されていない。